第488回（定例）福崎町議会会議録

令和2年3月26日（木）
午前9時30分開会

1. 令和2年3月26日、第488回（定例）福崎町議会は、福崎町役場に招集された。

1. 出席議員 14名

1番	河嶋重一郎	8番	竹本繁夫
2番	松岡秀人	9番	柴田幹夫
3番	三輪一朝	10番	富田昭市
4番	山口純	11番	高井國年
5番	小林博	12番	城谷英之
6番	石野光市	13番	前川裕量
7番	木村いづみ	14番	北山孝彦

1. 欠席議員（なし）

1. 事務局より出席した職員

事務局 長 岩木秀人 主査 塩見浩幸

1. 説明のため出席した職員

町長	尾崎吉晴	副町長	近藤博之
教 育 長	高寄十郎	公営企業管理者	福永 聡
技 監	吉栖雅人	会計管理者	小幡伸一
総務課長	山下健介	企画財政課長	吉田利彦
税務課長	尾崎俊也	地域振興課長	松田清彦
住民生活課長	谷岡周和	健康福祉課長	三木雅人
農林振興課長	松岡伸泰	まちづくり課長	山下勝功
上下水道課長	橋本繁樹	学校教育課長	大塚 謙一
社会教育課長	大塚久典		

1. 議事日程

第 1 総括質疑
第 2 委員長報告・質疑
第 3 開会中の所管事務調査報告
第 4 討論・採決
追加日程 追加議案の上程、討論・採決
第 5 閉会中の所管事務調査申出

1. 本日の会議に付した事件

第 1 総括質疑
第 2 委員長報告・質疑
第 3 開会中の所管事務調査報告
第 4 討論・採決
追加日程 追加議案の上程、討論・採決
第 5 閉会中の所管事務調査申出

1. 開議

議 長 皆さん、おはようございます。
ただいまから、本日の会議を開きます。
ただいまの出席議員数は14名でございます。
定足数に達しております。
それでは、これより本日の日程に入ります。
本日の日程は、お手元に配付しております議事日程に記載のとおりであります。

日程第1 総括質疑

議 長 日程第1は、総括質疑であります。
それでは、総括質疑に入ります。
質疑をされる際は、議案番号及び関係する資料名、ページ数等をお示しの上、
質疑をしていただきますようお願いいたします。
総括質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようですので、総括質疑を終結いたします。

日程第2 委員長報告・質疑

議 長 次の日程は、委員長報告及びこれに対する質疑であります。
3月9日の本会議2日目において、議案24件がそれぞれの委員会に付託され、
慎重審議がなされて、議長宛てに審査報告書が提出されております。
各委員会からその審査報告をしていただき、その後、委員長報告に対する質疑
を受けてまいります。
まず、予算審査特別委員長の報告を求めます。
事務局に審査報告書を朗読させます。

(書記朗読)

議 長 朗読が終わりましたので、さらに委員長に説明を求めます。
予算審査特別委員会、前川委員長。

前川予算審査 皆さん、おはようございます。

特別委員長 予算審査特別委員会の報告をさせていただきます。

本定例会3日目、3月12日に設置されました予算審査特別委員会の委員長に
私、前川裕量、副委員長に木村いづみ議員が選出されました。予算審査特別委
員会に付託されました議案は8件で、3月13日、16日、17日の3日間に
わたり慎重審議、審査を行いました。

なお、現地視察については、コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見
送りました。

審査の結果につきましては、先ほど事務局朗読のとおりであります。なお、予
算審査特別委員会委員は議長を除く全議員でありますから、質問や答弁につい
てはご承知のとおりと存じますので、特に報告すべきものに絞って報告をさせ
ていただきます。

最初に、議案第17号、令和2年度福崎町一般会計予算の概要説明を受けまし
た。

歳入では、「生活道路舗装事業などの地元負担金について、地元集落は過疎化などで活力がなくなっている状況にある。消防施設整備の地元負担金について、近隣市町では地元負担はなくなっている」など、地元負担金について見直しを求める意見が複数の委員からあり、「地元もこれだけ頑張るから町も応援してほしいということが大切と考えているが、全体的な視点で考えていくべき課題であり、すぐに取り組みにくいと考えています」との答弁がありました。

歳出において、総務費の庁舎エレベーター設置検討業務委託料330万円については複数の委員から質問等がありました。「どういう姿勢で進めるのか。役場庁舎はエレベーター設置が必須条件になっているのでは」という問いに対し、「エレベーターを設置したいという思いで調査しますが、その結果によってどうなるかわからない。県下12町のうち庁舎にエレベーターがないのは当町だけですが、建て替えや大規模改修でない既存の建物は必須条件になっていません」との答弁がありました。

「エレベーターは本当に必要なのか。1億円以上の費用がかかると思われるが、今の段階で必要としている方がほとんどないと思われる中、また耐震改修をした後20年使うとすれば、あと15年間のために多額の費用をかけてエレベーターを設置するより、他に優先すること、例えばエレベーターがない小中学校に設置することに使うべきである」などの意見に対し、「小中学校のエレベーターについては、福崎小学校、福崎西中学校に障害児対応として設置しており、今のところ小中学生にエレベーターまでは必要ないという考え方です」との答弁がありました。

「コロナウイルス感染症対応、景気低迷と言われる中、令和3年の税収など財源が減り、下水道の償還なども出てくる。今、緊急事態の中で、役場庁舎のエレベーターを本当に住民が必要としているのか。4年前の全員協議会でエレベーター設置には1億円から2億円かかるということも、具体的な根拠はないが聞いているところであり、エレベーター設置に向けて今の時期に330万円で調査検討することには反対である。執行に当たっては十分に再検討していただきたい。その上で、執行しないということを含め、町幹部職員全員でよく考えて、判断をされるべきである。議会は、その結果がいずれであってもできるだけ協力する」との意見に対し、「4年前に全員協議会でそのような話し合いがあったことは承知していませんでした。令和元年度の一般質問でエレベーターの設置を要望する質問をいただき、研究させていただきました旨の答弁をしていたことを受け、調査をさせていただきたいと提案させていただいたものです。執行に当たってはもう一度よく考えていきたいと思っております」との答弁がありました。

民生費では、委員から、病児保育事業負担金について、「令和2年4月1日から受け入れ可能なのか」との問いに対し、「神崎総合病院に隣接する建物の2階で神崎郡の3町で病児保育の施設を設けようとしています。令和3年1月からの実施を目標として進めています。施設をつくる予算も令和2年度に計上しているところで、施設を運用する要綱などはまだありません」との答弁がありました。

衛生費では、メンタルチェックシステム利用料の内容について質問があり、「自殺対策としての新規事業で、ホームページに上げて、携帯電話やパソコンのアプリを使って、自分の健康状態をチェックし、最終的にアドバイスと相談場所が出てくるもので、そのシステム利用料です」との答弁がありました。

農林水産業費では、委員から、「もち麦生産奨励補助金、もち麦産地振興補助

金について、品種ごとの補助単価の違いは」との問いに対し、「米澤2号は1反当たり1万円、フクミファイバーは1反当たり5,000円の補助単価です。もちむぎ食品センターでは米澤2号が人気があるということで、現時点ではフクミファイバーは扱わず、フクミファイバーは生産者みずから生産から販売までの6次産業化を推進しています」との答弁がありました。

また、農業次世代人材投資事業交付金の内容についての質問に対し、「平成28年度までは青年農業者就農支援という事業であったもので、名称が変わっています。令和元年度から継続して5年間対象となっている1名が交付を受けるもので、鍛冶屋地区でいちごハウスの経営をしています。本町ではこれまで2名が利用しています」との答弁がありました。「町民や若い方で農業に取り組みたい方にわかりやすいPRの仕方を検討していただきたい」との意見がありました。

商工費では、「駅前のカップモニュメントの瑕疵担保期間はどれくらいか。設置後これだけ故障があるが、担保期間終了後の修繕も含め、先を見越して考えているのか」との問いに対し、「瑕疵担保期間は2年間であり、このたびの漏水による停止では、水槽の水が管理用の扉からピット内に漏れ、電気系統も故障しています。瑕疵担保の範囲内ということで、業者負担で対応します。令和2年度予算で保険加入も計上しています。今後同じようなことが起こらないよう、改良を含め対応を協議しているところです」との答弁がありました。

また、「観光アプリの導入とはどういうものか」との問いに対し、「観光客の観光をサポートする仕組みづくりとして、スマートフォンの拡張現実技術を活用した、観光地の画像、古い時代の写真、GPS機能を活用した観光地めぐり、ベンチめぐり、令和元年度の妖怪ミステリーフォトラリー機能などの統合型アプリを導入しようとするものです」との答弁がありました。委員から、「現在、新型コロナウイルスの影響を考えると、観光客を増やす施策をする雰囲気ではない。予算はコロナウイルスが始まる前に組まれていると思うが、町民が大変な中、観光にこれだけのお金を使うのかと思われるのではと懸念する。執行はできるだけ遅らせるように」との意見があり、「今は人の健康を守ることが一番大事ですが、ずっと自粛では経済的に回らないという心配もあります。観光アプリは4月に発注しても年度後半の運用開始になりますので、今の状況が終息した時点で町全体を元気にできるように取り組みたい」との答弁がありました。

土木費では「公園整備実施設計委託料、公園施設整備工事費の内容は」との問いに対し、「福崎浄化センター東の修景施設を児童公園化するための実施設計委託料と工事費2,000万円で、その設計により、緩衝帯や水質保全環境の役割は残したまま、土と芝生の広場を整備、子どもが滑ることができるような築山をつくります。児童向けの遊具については、年次計画を立てて補助金を活用しながら設置していこうとしています。子育て施策の一環として子育て世代のレクリエーションの場や高齢者の憩いの場など、魅力ある公園として整備する考えです」との答弁がありました。

消防費では、「常備消防費の増額が大きい。令和元年度3月補正予算では姫路市の予算積算が間違っていたため補正するという説明があったところで、十数年前に姫路市に委託してから状況が変わってきているところもあるので、算出根拠については十分な確認を求める」との意見に対し、「算出根拠は確認しています。福崎町が委託をさせてもらっているのです、その委託の内容を知る権利があります。姫路市にしっかりと説明してもらい、本町が納得した分野で支払っていきます」との答弁がありました。

また、「防災行政無線の戸別受信機の対象者は」との問いに対し、「避難行動要支援者のうち個別支援計画を策定されている世帯を対象に600台を設置するものです」との答弁がありました。委員から、今回対象でない方で希望する方に対する設置や、集落で一部費用を負担する場合の設置の意見があり、「防災行政無線を補完するツールとして、お知らせメール、ひょうご防災ネットで町民に防災情報を流していますが、そういうものが見られない高齢者に対し戸別受信機を設置する考えです。既存のツールをできるだけ活用していただきたいと思いますが、一定の負担をしてでも戸別受信機設置を望まれる方が多く出てくるのであれば検討の余地があると思います」との答弁がありました。

教育費では、「福崎小学校北校舎長寿命化改良工事は、仮設校舎をつくらないとのことだが、北校舎には県民広場や学童保育園もあるので、詳しい説明を願いたい」との問いに対して、「学校との調整の中で、南校舎では空き教室が4部屋あり、北校舎の各フロアも4教室なので、フロアごとに南校舎へ移動しながら施工する予定です。工程は、令和2年9月着工、令和3年12月完了予定です。夏休み、冬休み、ゴールデンウィークなどの長期休暇を主に使って、空調工事時のように放課後の時間も含め、授業に支障のない範囲で施工を考えています」との答弁がありました。

続いて、議案第18号、令和2年度福崎町国民健康保険事業特別会計予算について概要説明を受けました。

「1人当たりの医療費は令和元年度に比べ下がる見込みなのに増税になるのはおかしいのではないか」との問いに対し、「被保険者数、被保険者世帯数がかなり減るため、増税の方向になっています。3月補正予算資料で提示させていただいている見込みより少なくなっている状況ですが、まだ残っているので、最終どうなるかはつかめない状況です」との答弁がありました。委員から、「令和2年度の税の決定では、令和元年度の最終での支出の減なども見込んで、コロナウイルスや消費増税、景気悪化などで、ぜひ値上げを避ける方向で最終検討いただきたい」との要望がありました。

続いて、議案第19号、令和2年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計予算について概要説明を受けました。

委員からの「医療給付費の伸び率の根拠は何ですか」との問いに対し、「受診率、日数、医療費の3要素を推計し、これらを掛け合わせて1人当たり医療費を算出しています」との答弁がありました。

続いて、議案第20号、令和2年度福崎町介護保険事業特別会計予算についての概要説明を受けました。

委員からの「介護予防・生活支援サービスの利用者が減っているとのことだが、その要因は」との問いに対し、「対象者があると思われるが、行政が十分に把握し切れていないところが要因になっていると考えています。我が事会議等を普及させ、地域の方から情報を得るよう努めてまいりたいと思うが、我が事会議の普及が不十分になっているところだ」との答弁がありました。

また、「VR認知症プロジェクト委託料とは何か」との問いに対し、「認知症カフェの当事者の家族や認知症の支援者等に、バーチャルリアリティの技術によって認知症の体験ができるというものです。会場に40人分のVR機器を借りて用意し、1人ずつ装着して講師が説明する形式で、ケアマネジャーのスキルアップにもつなげていきます」との答弁がありました。

続いて、議案第21号、令和2年度福崎町水道事業会計予算についての概要説明を受けました。

複数の委員からの「工業団地造成事業に貸し付ける3億1,000万円が安全な運用であるという考え方は」との問いに対して、「水道事業で内部留保しているお金については、管理者が安全・確実に運用していかなければならないということになっており、一方で、工業団地造成事業というのは、町が主体となりまして、公営企業として実施していくものでございます。町が責任を持って保証しているということになります。その中で、定期で運用しているものと同じ利率で工業団地造成事業へ貸し付け、売却後に水道事業に返済しますので、安全だと考えています。一般会計も水道会計も福崎町の予算であり、この貸付金の件が水道事業に影響を及ぼすようなことがあってはならないわけであり、福崎町全体の会計として責任を持って対応していきます」との答弁がありました。委員から、「主な水道施設が40年、50年経過しており、いつ災害が起こるかもしれないと考えると、水道の努力でできた資金は水道のために残しておくべきと強く思う」との反対意見がありました。

また、「八反田水管橋の耐震診断業務の内容は。耐震診断で3,900万円という大きな金額になるのか」との問いに対し、「八反田水管橋は昭和43年にできたもので、一部でわずかな漏水も見られます。業務内容は、鉄筋調査、コア採取、圧縮強度試験、現地調査、地盤の検討、耐震の地震に対する震度設定からの評価、工法の検討などとなっています」との答弁がありました。

また、「八反田水管橋以外にも将来的に大きな課題はあるのか」との問いに対し、「八反田水管橋は5億4,000万円かかりますが、それ以外に福田水源地から三宮への送水管、福田から辻川山への送水管が40年近くたっているため、入れ替えの必要があります。また、計画段階ですが、井ノ口水源地を改修するのには複合的に考えていく必要があります。それらが課題と考えています。井ノ口水源地については令和元年度から10年間の計画である水道ビジョンでも財源は考慮されていないものです」との答弁がありました。

続いて、議案第22号、令和2年度福崎町工業用水道事業会計予算について概要説明を受け、委員から特に質疑はございませんでした。

続いて、議案第23号、令和2年度福崎町下水道事業会計予算について概要説明を受けました。

委員からの「南田原地区雨水整備工事の延長、工法は」との問いに対し、「工事費は1,370万円、延長は70メートル、中島区で旧中道線から中島井ノ口線までの間で700ミリ掛ける500ミリのボックスカルバートを町道の下に設置します。南田原水路との兼ね合いで、農事用が終わってから、秋口からの着工を予定しています」との答弁がありました。

また、「町のこれまでの計画では、農業集落排水の公共下水への統合の検討が言われていたと思うが」との問いに対し、「農業集落排水施設については将来的には公共下水道へつなぎ込む計画です。平成25年に国の補助金を活用して農業集落排水の施設改良を行ったことから、10年間は適化法の縛りがあるため、早くても令和6年ぐらいから順次つないでいきたいと考えています」との答弁がありました。

続いて、議案第24号、令和2年度福崎町工業団地造成事業会計予算について概要説明を受けました。

委員からの「造成工事費5億200万円はどこに外注に出すのか」との問いに対し、「令和元年度、詳細設計を県土地開発公社に委託し、公社で入札が行われ、落札したコンサルにおいて設計は済んでいます。令和2年5月ごろ県土地開発公社が工事を入札し、工事監理も公社に行ってもらいます」との答弁があ

りました。

以上の8議案について審査の結果、議案第17号から議案第20号、及び議案第22号の5議案については全員賛成で、議案第21号、議案第23号及び議案第24号の3議案については賛成多数で、原案のとおり可決しました。

最後に、委員各位には、ご精励を賜り、慎重審議の結果、適正妥当なる結論を得ましたこと、厚く御礼申し上げます。

以上で予算審査特別委員会の審査報告を終わります。

議長 予算審査特別委員長からの説明が終わりました。

委員長に対する質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議長 ないようですので、予算審査特別委員長報告に対する質疑を終結します。

次、総務文教常任委員会の審査報告書を事務局に朗読させます。

(書記朗読)

議長 朗読が終わりましたので、さらに委員長に詳細なる説明を求めます。

総務文教常任委員会、山口委員長。

山口総務文教 総務文教常任委員会に付託されました議案の委員会審査について報告します。

常任委員長 委員会を令和2年3月18日に開催し、付託されました議案2号、3号、10号、11号、12号の5件について慎重に審査を行いました。

審査の結果につきましては、事務局から朗読のとおり、議案全てにおいて全員賛成で原案のとおり可決すべきものとしたことをご報告申し上げます。

これより補足説明をいたします。

議案第2号、福崎町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例については、情報通信技術の活用による行政手続等に係る利便性の向上を図るための一連の改正で、条例の引用条項等のずれと文言整理をするものです。

議案第3号、福崎町町税条例等の一部を改正する条例については、納税環境の整備の一環としてコンビニエンスストアから収納できるようにするため、関係条文を整理、改正するものです。

議案第10号、福崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)については、地方創生の充実強化に向け、切れ目のない取り組みを進めることが求められることから、これまでの取り組みの検証結果や次の5年間の方向性を示す計画と見直しを行い、第2期総合戦略を策定するものです。

委員から、特別指定区域制度活用事業について質疑があり、町長から、「特別指定区域制度は都市計画法の例外で、福崎町は早くからこの制度に取り組んできました。当初は地縁者住宅しか認められていなかったが、それに加えて、新規住宅も来てもらえるような仕組みもできており、福崎町は他市町に比べても早くから整備、活用しているところ」などの答弁がありました。

議案第11号、福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画については、第1期計画が令和元年度で策定後5年目の最終年度を迎え、保護者の就労形態の多様化、女性の社会進出、子ども・子育て支援制度による環境の変化などに対応するため、令和2年度から令和6年度までの新たな5年間を計画期間とする事業計画を策定するものです。

委員から、「教育の推進、学力向上に対する取り組み、特に平均以下の学力の底上げを積極的に行うべきではないか」等の質疑があり、教育長から、「学習をされていて解決するのに時間のかかる子どもたちに対しては、学力支援員を配置して対応している。補充学習等も夏休み、冬休みなどで指導をしている。指摘された内容については、学校にも指導していきたい」などの答弁がありまし

た。

議案第12号、令和元年度福崎町一般会計補正予算（第5号）については、既定の歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ1億4,170万円を減額し、補正後の予算を81億7,400万円とするものです。歳出補正の増額の主なものは、小中学校の通信ネットワーク整備事業に9,600万円など、減額の主なものは、プレミアム付商品券事業で4,357万円、エルデホールの空調設備改修に係るもので4,940万円などです。

委員から、財政調整基金の運用に関する質疑があり、町長から、「令和元年度は積むことができたが、令和2年度当初予算では2億数千万の財政調整基金を取り崩すということになっている。福崎駅周辺整備事業が終わったにもかかわらず、財政調整基金を取り崩さなければ当初予算が組めなかったわけであるから、今後は気を引き締めて考えておかなければならない」などの答弁がありました。

以上で総務文教常任委員会からの報告を終わります。議員各位のご賛同を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議 長 総務文教常任委員長からの説明が終わりました。
委員長に対する質疑はありませんか。

（「ありません」の声あり）

議 長 ないようですので、総務文教常任委員長報告に対する質疑を終結します。
次、民生まちづくり常任委員会の審査報告書を事務局に朗読させます。

（書記朗読）

議 長 朗読が終わりましたので、さらに委員長に詳細なる説明を求めます。
民生まちづくり常任委員会、小林委員長。

小林民生まちづくり 民生まちづくり常任委員会の審査報告をさせていただきます。

常任委員長 委員会に付託された議案第4号を初め11件について、3月19日、委員会を開催し、町長、副町長、公営企業管理者、技監及び担当課長などの出席を求め、慎重に審査しました。審査の結果は、報告書のとおり、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第4号は、消防団員の報酬を引き上げるものであります。県内の一覧表が配付されました。「消防団員の士気向上のためにも、県下で低い状況のさらなる改善が必要」との意見が出されました。「平成30年度実績では消防費の基準財政需要額は3,060万円ですが、決算では7,640万円の支出」との報告が当局からありました。今後、県下の状況も見ながら進めるとのことです。

議案第5号は、町営住宅入居について、保証人を必要としないようにする、敷金を家賃滞納の弁済に充てることを可能にする改正です。適正な運営を求める意見が出されました。

議案第6号は、犯罪被害者等基本法に基づき条例制定するものです。対象は住民票を置かれている方です。

議案第7号、8号は、上級法令などの改正によるものであります。

議案第9号は、駅前東駐車場を2時間までは無料とするものです。活性化につなげることを期待するとともに、西駐車場を含めPRの強化を求める意見がありました。

議案第13号は、令和元年度国民健康保険事業特別会計の補正予算で、療養給付費の伸びによる補正であります。

議案第14号、15号、16号は、ともに実績を踏まえた補正です。

議案第25号は、町道の廃止・認定ですが、一部町道から外すところがありますが、他の補助金を利用できる見込みが立っているとのことであります。

以上、審査の結果、付託案件はいずれも全員賛成で可決すべきものと決定いたしました。

議 長 民生まちづくり常任委員長からの説明が終わりました。
委員長に対する質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようですので、民生まちづくり常任委員長報告に対する質疑を終結します。

日程第3 開会中の所管事務調査報告

議 長 日程第3は、開会中の所管事務調査報告であります。
委員会の活動について、委員長に報告を求めます。
民生まちづくり常任委員会、小林委員長。

小林民生まちづくり 民生まちづくり常任委員会の議会開会中の調査報告をさせていただきます。

常任委員長 1番目は、公害防止協定に基づく協議についてであります。株式会社デービー精工から作業環境改善のための工事等をしたいとの申請で、委員会は全員賛成で了承することとしました。

二つ目は、地域振興課から妖怪装置の不具合についての報告がありました。駅前のカップ停止原因は機械室の水没で、請負者側の負担で対応する、運転再開は5月下旬の予定とのことであります。辻川山公園の天狗装置は、可動ワイヤーの経年劣化によるもので、新年度予算での対応とし、4月上旬再開を目指すとのことであります。また、第14回辻広場まつりは中止するとのことであります。

以上です。

議 長 次、議会運営委員会、富田委員長。

富田議会運営委員長 議会運営委員会から報告いたします。

委員会は、議会開会中に審査・調査したから、会議規則第77条の規定により報告いたします。

調査期日は、3月12日木曜日と17日火曜日の2回実施しました。

初めに、12日木曜日の調査・協議事項につきましては、第488回3月定例会の追加議案予定について協議し、議員提案の意見書案第1号、新型コロナウイルス感染症対策の更なる充実・強化を求める意見書については、3月12日木曜日に開催予定の本会議3日目に追加上程をし、委員会付託を省略し、即決とすることを確認しました。

次に、3月17日火曜日の委員会調査・協議事項につきましては、同じく第488回3月定例会の追加議案予定について協議し、町長提案の議案第26号、教育長の任命については、3月26日木曜日に開催予定の本会議5日目に追加上程し、委員会付託を省略し、即決とすることを確認しました。

以上、議会運営委員会からの調査報告といたします。

議 長 以上で、開会中の所管事務調査の報告を終わります。

日程第4 討論・採決

議 長 日程第4は、討論・採決であります。

それでは、議案第2号、福崎町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する

条例についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第2号、福崎町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について、本案に対する総務文教常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。
(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第2号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。
次、議案第3号、福崎町町税条例等の一部を改正する条例についての討論を行います。討論はありませんか。
(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第3号、福崎町町税条例等の一部を改正する条例について、本案に対する総務文教常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。
(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第3号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。
次、議案第4号、福崎町消防団条例の一部を改正する条例についての討論を行います。討論はありませんか。
(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第4号、福崎町消防団条例の一部を改正する条例について、本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。
(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第4号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。
次、議案第5号、福崎町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についての討論を行います。討論はありませんか。
(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第5号、福崎町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。
(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第5号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第6号、福崎町犯罪被害者等支援条例の制定についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第6号、福崎町犯罪被害者等支援条例の制定について、本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第6号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第7号、福崎町在宅老人介護手当支給条例の一部を改正する条例についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第7号、福崎町在宅老人介護手当支給条例の一部を改正する条例について、本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第7号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第8号、福崎町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第8号、福崎町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について、本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第8号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第9号、使用料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。

議案第9号、使用料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例について、本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第9号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第10号、福崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第10号、福崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)について、本案に対する総務文教常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第10号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第11号、福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第11号、福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画について、本案に対する総務文教常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第11号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第12号、令和元年度福崎町一般会計補正予算(第5号)についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第12号、令和元年度福崎町一般会計補正予算(第5号)について、本案に対する総務文教常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第12号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第13号、令和元年度福崎町国民健康保険事業特別会計補正予算(第

3号)についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第13号、令和元年度福崎町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について、本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第13号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第14号、令和元年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第14号、令和元年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について、本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第14号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

会議の途中ですけども、暫時休憩いたします。

再開は10時45分といたします。

◇

休憩 午前10時28分

再開 午前10時44分

◇

議 長 会議を再開いたします。

次、議案第15号、令和元年度福崎町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第15号、令和元年度福崎町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)について、本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第15号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第16号、令和元年度福崎町下水道事業会計補正予算(第2号)につ

いての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第16号、令和元年度福崎町下水道事業会計補正予算(第2号)について、
本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するで
あります。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。
(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第16号については、原案のとおり可決することに決定いたしま
した。
次、議案第17号、令和2年度福崎町一般会計予算についての討論を行います。
討論はありませんか。
(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第17号、令和2年度福崎町一般会計予算について、本案に対する予算審
査特別委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。
(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第17号については、原案のとおり可決することに決定いたしま
した。
次、議案第18号、令和2年度福崎町国民健康保険事業特別会計予算について
の討論を行います。討論はありませんか。
(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第18号、令和2年度福崎町国民健康保険事業特別会計予算について、本
案に対する予算審査特別委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。
(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第18号については、原案のとおり可決することに決定いたしま
した。
次、議案第19号、令和2年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計予算につい
ての討論を行います。討論はありませんか。
(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第19号、令和2年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計予算について、
本案に対する予算審査特別委員会の審査報告は、原案のとおり可決するでありま
す。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。
(起立全員)

- 議 長 起立全員であります。
よって、議案第19号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。
次、議案第20号、令和2年度福崎町介護保険事業特別会計予算についての討論を行います。討論はありませんか。
(「ありません」の声あり)
- 議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第20号、令和2年度福崎町介護保険事業特別会計予算について、本案に対する予算審査特別委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。
(起立全員)
- 議 長 起立全員であります。
よって、議案第20号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。
次、議案第21号、令和2年度福崎町水道事業会計予算についての討論を行います。討論はありませんか。
(手が上がる)
- 議 長 まず、原案に反対者の発言を許可します。小林議員。
5 番 議案第21号、令和2年度福崎町水道事業会計予算に反対の立場を表明させていただきます。
全ての町民一人一人の命と暮らしを支える重要な水道であります。ライフラインと言われる中で最重要と言ってよいと考えております。安全、安定、安価で良質な水を町の隅々まで送り届けることが大切であり、そのために、歴代担当された方々を含め、現担当者の方々のご苦勞と努力に敬意を表します。
福崎町の水道事業が始まってからのほぼ全期間50年にわたり、この会計は公営企業法に基づき独立採算制で運営されてきました。町長は全部の会計を一体として捉まえているとの表明がありましたが、企業会計で独立採算を強いられてきたのであります。その中で8億円もの流動資産を持つに至っております。議会を含む関係者の努力と町民の皆さんの協力のたまものと思います。この留保資金のうち3億1,000万円を他の開発事業に投資することは、趣旨が違ふし、全くの筋違いと思います。この額は1年間の水道料金の総額に匹敵します。怒りを通り越して悲しい思いがいたします。
建物、構築物、機械など土地を除く固定資産総額は50億円に上ります。中には数十年の年月を経た施設も多く存在しています。その維持管理には準備が必要です。今年度も八反田水管橋があり、引き続き井ノ口水源地の問題、貯水池など、多くの課題が目の前にあります。水道の資金は町民の命と暮らしを支える水道のためにこそあることを訴えて、反対の討論とさせていただきます。
24号議案についても、同様の趣旨から反対の態度をとらせていただきます。
- 議 長 次に、原案に賛成者の発言を許可します。三輪議員。
3 番 議案第21号、令和2年度福崎町水道事業会計予算について、賛成討論をいたします。
本予算は、福崎町水道ビジョン・経営戦略に基づき、安全な水を安定して町民に供給できるよう予算編成をされています。本会計は、福田水源地の高度浄水処理施設に多額の設備投資をしたにもかかわらず、平成30年度決算においては7億円を超える利益剰余金を保有するなど、健全な財政運営に取り組んでいます。

今回の工業団地造成事業会計への3億1,000万円の貸付金につきましては、工場用地売却後、令和3年度末までに返済されるとのことであり、水道事業の運営に影響を及ぼさない期限付きの貸し付けであります。公営企業の運営上、この貸し付けに何ら問題はなく、その貸付利率も定期預金での運用と同等とするとのことで、工業団地造成事業にとりましても、民間金融機関からの融資を受けるよりも有利です。万一、工場用地の売却が遅れたといたしましても、金融機関からの一時借入れや一般会計からの借入れも可能と考えられ、現実に返済不能に陥ることは想定しないとの当局の説明であります。

工業団地造成事業は、地域経済の振興や雇用の創出が期待でき、さらには安定的な財源確保の観点からも、この事業が一刻も早く進展することを望むものです。今回の当局の議案は、固定観念や狭い視野にとらわれておらず、本町の発展・飛躍を推し進めるために必要である柔軟な思考による予算編成であります。

以上から、議案第21号、令和2年度福崎町水道事業会計予算について賛成するものです。議員各位のご賛同をお願い申し上げ、賛成討論といたします。

議 長 ほかに討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 これで討論を終わります。

これより採決を行います。

議案第21号、令和2年度福崎町水道事業会計予算について、本案に対する予算審査特別委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立多数)

議 長 起立多数であります。

よって、議案第21号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第22号、令和2年度福崎町工業用水道事業会計予算についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第22号、令和2年度福崎町工業用水道事業会計予算について、本案に対する予算審査特別委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第22号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第23号、令和2年度福崎町下水道事業会計予算についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第23号、令和2年度福崎町下水道事業会計予算について、本案に対する予算審査特別委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。

委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第 23 号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第 24 号、令和 2 年度福崎町工業団地造成事業会計予算についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第 24 号、令和 2 年度福崎町工業団地造成事業会計予算について、本案に対する予算審査特別委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立多数)

議 長 起立多数であります。
よって、議案第 24 号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、議案第 25 号、福崎町道路線の廃止及び認定についての討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。
これより採決を行います。
議案第 25 号、福崎町道路線の廃止及び認定について、本案に対する民生まちづくり常任委員会の審査報告は、原案のとおり可決するであります。
委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。
よって、議案第 25 号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

追加日程 追加議案の上程、討論、採決

議 長 この際お諮りいたします。議事日程の追加でございます。
先日、議会運営委員会を開き、追加議案の上程について検討をお願いし、了承を得たところですが、議案第 26 号、教育長の任命についてを日程に追加し、直ちに議題としたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。
よって、議案第 26 号、教育長の任命についてを日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。
暫時休憩します。

◇

休憩 午前 11 時 03 分

再開 午前 11 時 04 分

◇

議 長 再開します。
議案第 26 号、教育長の任命について、町長に説明を求めます。

町 長 議案第 26 号、教育長の任命について、ご説明申し上げます。

議案第26号は、現教育長の高寄十郎氏が令和2年3月31日付をもって退職されることから、その後任として、福崎町南田原2162番地3、高橋渉氏を教育長に任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定に基づき、議会の同意をお願いするものであります。

なお、新教育長の任期は、前任者の残任期間である令和2年4月1日から令和3年3月31日までとなっています。

それでは、高橋渉氏の経歴を紹介させていただきます。お手元の経歴をごらんください。住所は福崎町南田原2162番地3、昭和30年1月21日生まれで、現在65歳です。最終学歴は、昭和52年3月に福岡教育大学教育学部を卒業され、職歴は、昭和52年4月に姫路市立夢前中学校教諭を振り出しとして、中学校教育に36年間、小学校教育に2年間、心身ともに健全な児童生徒の育成に尽力され、うち教頭6年間、校長6年間は管理職として、学校経営の充実、発展に取り組んでこられました。

平成27年4月から、教育委員会で社会教育指導員として、豊富な経験と知識を生かし、福崎町の社会教育の推進に指導助言をいただいております。

高橋氏は、誠実で人望も厚く、教育の専門家としての知識を備えており、教育長として、福崎町教育のさらなる充実、発展に取り組んでいただけるものと確信しております。

審議の参考にさせていただくために、議案資料に高橋氏の「わたしの抱負」をお示ししていますので、ご参照いただき、ご賛同いただきますよう、よろしくお願いいたします。

議長 ただいま町長からの説明が終わりました。

次は、議案に対する質疑であります。

議案第26号、教育長の任命について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議長 ないようですので、本案に対する質疑を終結いたします。

ここでお諮りいたします。

議案第26号、教育長の任命については、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略し、ただいまから即決したいと思います、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 異議なしと認めます。

よって、議案第26号、教育長の任命については、本会議において即決することに決定いたしました。

それでは、討論・採決を行います。

議案第26号、教育長の任命について、討論を行います。討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議長 討論なしと認めます。

これから採決を行います。

議案第26号、教育長の任命について、原案のとおり同意することに賛成の方は、起立願います。

(起立全員)

議長 起立全員であります。

よって、議案第26号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第5 閉会中の所管事務調査申出

議 長 次の日程は、閉会中の所管事務調査の申し出であります。
各委員長からそれぞれの所管事務調査の申し出が議長宛てに提出されております。

それぞれ申し出のとおり許可することに決定して、ご異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。
よって、閉会中の所管事務調査申し出については、それぞれ申し出のとおり許可することに決定いたしました。

以上で、第488回福崎町議会定例会の日程は全て終わりました。

よって、本定例会を閉会することにしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。

第488回福崎町議会定例会を閉会することに決定いたしました。

閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

今定例会は、3月6日に招集され、本日までの21日間にわたり本会議及び委員会と連日ご精励を賜り、まことにありがとうございました。

令和2年度当初予算を初め、本定例会に提出されました全ての案件について、慎重審議の上、それぞれ適正妥当なる結論づけをいただきました。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、議事の運営につきまして格段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この間、理事者の皆様には、資料の作成を初め、議会の審議における協力に対し敬意を表しますとともに、本会議及び委員会において議員各位から述べられました意見、要望事項につきましては特に考慮され、執行の上に十分反映されますよう、強く要望いたす次第であります。

閉会に当たりまして、町長からご挨拶をいただきます。

町 長 第488回福崎町議会定例会の閉会に当たりまして、一言お礼を申し上げます。

本定例会は3月6日に招集され、本日までの21日間という会期でありました。招集日の前日に新型コロナウイルス感染者が町内で確認をされるという中で、議会運営ではいろいろとご配慮をいただき、ありがとうございました。そして、提案いたしました26議案とも可決をいただきまして、まことにありがとうございました。議案審議の中で伺いましたさまざまな声は今後の行政執行に生かしていきたいと思っております。

いずれも重要な議案であったわけですが、とりわけ当初予算につきましては、私にとって初めての予算でありますので、特別な思いもありました。また、任期を残されて高寄教育長が退職をされるという中で、新たに高橋渉氏を承認していただきました。高寄教育長には10年余りにわたって教育行政の先頭に立ってご尽力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。4月からは新しい執行体制のもとで職員一丸となって町行政を進めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

春は近づき、好季節となってきましたが、新型コロナウイルスの拡散がとまりません。昨日は東京オリンピック・パラリンピックが1年延期というニュースが飛び込んできました。やはり人の命、健康が一番大切ですので、やむを得ないと多くの方も思われたのではないのでしょうか。しっかりと終息した中で世界

から祝福される五輪が盛大に開催されることを望むものであります。

まだまだ気温の寒暖の差が大きいこのごろです。議員の皆様におかれましては、どうか健康には十分留意をされ、公私にわたってご活躍されますことを心から祈念を申し上げまして、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

議 長 以上をもちまして、閉会といたします。お疲れさまでした。

閉会 午前 11 時 14 分

地方自治法第123条の規定により、ここに署名する。

令和2年5月

福崎町議会議長 北 山 孝 彦

福崎町議会議員 山 口 純

福崎町議会議員 高 井 國 年